

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①子どもに育成すべき資質・能力を提示して授業を行うことで子ども一人ひとりが運動に対して「できた・分かった」を感じられるようにします。②委員会活動を中心として子ども自らが自他の健康、安全を守ろうとしたり、体力の向上を図ったり、給食を中心とした食に関する意欲を高めたりするよう努めます。
担当 児童育成部会・体育部	

健やかな体に関わる本校の状況

(1) 健やかな体にかかわる本校の状況
 ○市学力・学習状況調査の結果では、体力・運動能力に関して全体的に市平均と同等、もしくは下回る結果となっている。

○低下がみられる体力・運動能力に対して生活実態調査の結果では、学年が上がっても、運動に対して高い意識をもって過ごしている。睡眠や朝食の有無などの基礎的な生活習慣は市平均を超えており、授業外での実施状況・運動時間の低下がみられている。

○運動面では、握力と上体起こしが平均を下回っている学年が多く、向上させるべき体力要素としては筋力・筋持久力であると考えられる。

(2) これまでの学校の取り組み状況
 ○体育の授業では子どもの実態を把握し、実態に応じた授業改善を行った。また、ICT機器の活用を進め、自己の課題発見につなげられるようにした。

○各委員会を中心にした活動では、体育集会や給食週間、ハンカチティッシュ調べを通して児童が健康に対して意識を向けられるようにしてきた。

令和4年度 体力・運動能力

生活実態

今年度の目標

①子どもに育成すべき資質・能力を提示して授業を行うことで子ども一人ひとりが運動に対して「できた・分かった」を感じられるようにします。②委員会活動を中心として子ども自らが自他の健康、安全を守ろうとしたり、体力の向上を図ったり、給食を中心とした食に関する意欲を高めたりするよう努めます。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<p>(1) 体育学習を通して、運動に親しむ態度を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態を把握し、それに応じた授業と授業改善を行う。既習事項をもとにした単元構成を行い、目指す姿を具体的に提示することで見通しをもって学習に取り組めるようにする。また、ICT機器や学習カード、掲示物を活用して、子ども自身が自身の課題を把握し、より意欲的に学習に参加できるようにする。 ・グループ活動を効果的に取り入れ、授業内に対話場面を設定する。 ・午前40分5時間制を弾力的に活用し、運動時間の確保をする。具体的には60分での授業を積極的に行い、授業時間内に課題に向かって粘り強く運動に取り組む時間を確保する。 <p>(2) 体育委員会での活動を通して、自身の体力を見つめ直し、よりよい体づくりを行い健康への意識を高められるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は筋力の向上を目指した活動を主に委員会児童と計画し実施していく。 <p>(3) 保健学習や保健委員会、学校保健委員会の活動を通して、健康について興味を持ち、自己管理能力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の健康課題を把握し、校内や関係機関と連携して指導をしたり、保健委員会で具体的な活動内容を決めたりして、児童が健康な生活習慣を意識できるようにする。 ・食に関する取組については、下半期に具体的行動プランを作成し、行動していく。
下半期	